

## 1. 基盤地図情報XML検査

メニュー[基盤地図情報]-[基盤地図情報 XML 検査]に「識別コード」「管理番号」「整備作業番号」「測量成果等メタデータ」の検査を追加しましたが、要素「出典メタデータ」が省略されている場合にエラーとする誤りを修正しました。

### 【識別コード・管理番号などの不一致】

OID 識別コード・OID 管理連番・整備作業番号・測量成果等メタデータ ID(出典メタデータ)の組を CSV ファイルで指定して、指定した値以外があれば検出します。

CSV ファイルは 1 行目はヘッダです。2 行目からそれぞれの項目です。成果が複数ある場合、3 行目から追加しておきます。サンプルの CSV ファイル(識別コード・管理連番・整備作業番号・測量成果等メタデータ ID.csv)はインストールフォルダにあります。

	A	B	C	D
1	OID識別コード	OID管理連番	整備作業番号	測量成果等メタデータID(出典メタデータ)
2	10-00200	7-123	H1610127_S01	8-192

以下のチェックを行います。

- ① 地物の属性「uuid」と要素「地物 ID」「整備作業番号」があるか？（出典メタデータは整備作業用実測点、検証点、標定点では省略、また接続編集で追加された地物も省略）
- ② 「地物 ID」「整備作業番号」「出典メタデータ」空白ではないか？
- ③ 「uuid」と「地物 ID」が同じか？
- ④ 「地物 ID」の文字列に 4 個のハイフンが含まれていて、識別コードと管理連番を分離できるか？
- ⑤ 「地物 ID」から得た識別コードと管理連番、「整備作業番号」「出典メタデータ」それぞれについて CSV にあるか？
- ⑥ 「地物 ID」から得た識別コードと管理連番、「整備作業番号」「出典メタデータ」の組が CSV の行にあるか？